

まちを元気に！ けんぶち産加工研究会 『Econa Kitchen』

合言葉は”まちを元気に”

道の駅絵本の里けんぶちでは、町内の特産品の販売や、また、農産物直売所でも町内で収穫された農産物等を安く提供しています。

そのなかには、剣淵町産の米粉を使って開発された商品が平成23年度から販売されています。

今回紹介するのは「Econa Kitchen」（エコナキッチン）で、町内産の米粉を使用した地産地消の取り組みです。



道の駅のテナントで販売している商品のほかにも、レストランで事前に注文していただければ、ふわふわの米粉シフォンケーキが味わえます。

道の駅のテナントに置いてあるパンフレットの1部です。簡単な米粉のレシピがついていたり、COOKING A F E（不定期開催の料理教室）も町内の方を対象にわられる予定と周知されており、まちを元気にする活動はこれからも広がりを見せます。

「Econa Kitchen」とは、平成23年11月に「けんぶち産加工研究会」の愛称として考えられ、「Econa」は「エコ」と「いい粉」を掛け合わせて作られた言葉で、柔らかい音の響きは親しみやすさを感じます。研究会は町内で収穫される農産物や、収穫しても見た目やキズ・大きさの違いから捨てられてしまう農産物、また粉類を利活用し、町内の各産業が連携して開発を進め、まちの活性化に繋がればと創設されました。

けんぶち産研究会ではホームページ『conacona.com』を開設し情報を発信しています。剣淵町のホームページのトップページから見ることもできます。

以前広報誌でも掲載していましたが、農家、食品店や飲食店等に從事されている方約18名が参加し、製粉を利活用した商品開発に取り組んでいます。「まちを元気にする」取り組みに、町民の皆さんも食べることや町外者の方のお土産、贈り物等で参加してみませんか。